

Tokushima

徳島県

徳島県がん登録室
(公財)とくしま未来健康づくり機構



徳島県の概要

徳島県は四国の東部に位置し、東は紀伊水道に面し、北は香川県、南は高知県、西は愛媛県に接しています。面積4,147km²のおよそ8割を山地が占めています。標高1,955mの剣山をはじめとする山々、西から東へと流れる吉野川に代表される清流である河川に富んでいます。

徳島県のシンボルとして「やまもも」(県の木)、「しらさぎ」(県の鳥)、「すだちの花」(県の花)、「藍色」(県の色)が指定されています。

人口は723,198人(令和2年4月現在)、24市町村で構成されています。65歳以上の人口が34%を占め、高齢化が進み、全体的に人口が減少傾向です。

徳島県のがん登録事業

地域がん登録事業は、1993年に県独自様式で開始され、2007年4月から届出用紙を標準項目に準じた様式に変更、2009年11月に標準DBS導入、2013年症例からは都道府県がんデータベースシステムを導入しました。

がん登録事業は、徳島県に委託され、公益財団法人とくしま未来健康づくり機構が行っています。室長としてがん登録の利用・統計についての助言をする医師1名、がん登録室で実務を行っている臨床検査技師2名・事務1名が所属しています。健診施設であるため、全員が健診業務との兼務でがん登録業務を行っています。



徳島県のキャラクター
すだちくん

現状と課題

第2次保健医療圏は、東部、南部、西部の3圏域に分かれており、人口の7割が集中する東部保健医療圏には、都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院(高度型)、地域がん診療連携拠点病院(3施設)が、人口の2割を占める南部保健医療圏には地域がん診療連携拠点病院(1施設)が、人口の1割が暮らす西部保健医療圏には、地域がん診療病院(1施設)がそれぞれ整備されています。

県内の病院数は111施設と人口の割に病院数が多い県といえます。全国がん登録が開始されましたが、全国がん登録への理解を進めてもらうために、個別訪問で届出に関する相談ができる場を設けることや、病院等の届出担当者を対象とした研修会の開催を行っています。しかしながら、個別訪問も時間的に限られること、研修会の参加施設は、毎回同じ施設からであることが問題点と言えます。

またがん登録と健診業務を兼務ということもあり、がん登録業務を全員が揃って集中して行うことが難しい状況です。健診の繁忙期と遡り調査などの期限の決められた調査が重なることもあり、工夫しながら毎年作業を進めています。

最後に

今後は、各都道府県がん登録室の積極的な取組等を参考にさせていただき、届出病院に対しての働きかけを行いたいと思います。個別相談の継続、わかりやすい資料を作成配布、メールリストやWebを活用した情報の発信を考えています。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。